諫早市教育委員会議事録

令和元年第6回(5月定例)

令和元年第6回(5月定例)教育委員会

1 日 時 令和元年5月29日(水) 16時30分~17時35分

2 場 所 諫早市役所 7階 7-1会議室

3 出席者 教育長 西村 暢彦

委 員 緒方 正親

委員 秀島 はるみ

委 員 宮本 峻光

委 員 原田 裕介

4 会議に出席した事務職員

教育次長 髙栁 浩二

教育総務課長 田島 正孝

学校教育課長 有谷 孝彦

生涯学習課長 佐藤 小百合

文化振興課長 諸岡 昌史

5 議題

議案第7号 全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて

議事録署名人の指名

教育委員会構成員の変更に伴い、議事録署名人の順番を、秀島委員、原田委員、 緒方委員、宮本委員とする。

本日の議事録署名人として秀島委員と原田委員を指名

議事録の承認

○ 平成31年第5回(4月定例)教育委員会の議事録について 質問・意見なし 原案どおり可決

教育長等の報告の要旨

- 1 教育長の報告
 - ○少年少女発明クラブ開講式について4月27日に少年少女発明クラブの開講式があった。平成6年にできたクラブで、九州ガスホール・アメニティの協力で行われている。
 - ○10連休について これまでにない大型連休であったが、大きな事故もなくよかった。
 - ○土橋貞恵翁・頌徳祭について 5月9日に土橋貞恵翁・頌徳祭が森山東小学校であり、森山西小学校の発表 がなされた。
 - ○諫早市立中学校連合生徒会について
 - 6月10日に諫早市中学校連合生徒会が行われた。市内中学校の生徒会から各3名程度が集まり、お互いに情報交換を行いひとつのテーマについて学びあい実践に向けた報告が行われる。
 - ○市P連表彰式について 5月17日に諫早市PTA連合会の表彰式が行われた。
 - ○中学校体育大会について5月19日に行われる予定であった中学校体育大会は、雨天のためほとんどの中学校が21日に延期され行われた。
 - ○寄贈について5月20日に2件の寄贈があった。

10時 たちばな信用金庫と吉川建設からソフトサッカーボールを123個、11時 県央農協から小学校1年生に黄色の雨傘を寄贈してもらった。

○市町村教委連総会・研修会について

5月21日に長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会及び合同研修会が行われ、委員の皆さんに参加していただいた。

○小学校運動会について

5月26日に28小学校のうち21校で運動会が行われた。残りの7校は9月に開催予定。非常に暑かったので熱中症対策の取り組み状況について確認中である。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

運動会を午前中だけで終了した学校はあったか。

「学校教育課長]

午前中で切り上げた学校はない。他県ではあったようである。

[委員]

どのような理由で午前中だけとしたのか分からないが、今後、諫早市でもそういった傾向もあるのか。

[学校教育課長]

新聞報道等によると、学校行事の精選や子どもたちの負担軽減の面など、競技を詰めて行うと午前中で終わるので午後は自宅に帰すといったことがあるようである。今後、諫早市でもそのような学校が出てくるかもしれない。

委員

湿球黒球温度計を各学校に配布し使用しているか。

「学校教育課長]

熱中症計を設置し、養護教諭等が計測して判断している。

[委員]

グラウンドも測定して、状況を判断した方がいい。湿度も関係するが、急激に 温度が上昇したりすると体が馴化していないから熱中症になりやすい。ある学校 では、運動会を早く切り上げたが熱中症が起こった事例がある。なぜかというと、 行事予定の全てを縮め、休み時間も短くして次々と進めていったため、起こるべ くして起こった。そういう対応を絶対しないこと。

[教育長]

熱中症対策については、各学校で取り組んでいる。例えば気温が高いようであれば日陰で休ませておいて、出番のときだけ出すなど色々な方法があると思うが、しっかり子どもを観察しながら、工夫してやっていく。だからといって事故があってはならないので、冷静に判断していかなければいけない。

[委員]

水分補給は、どちらかというと促す方法なので飲まない子もいる。「飲んでください」ではなく「飲みなさい」と言って水分補給をさせ、飲んだところまで確認を取らないと危険かもしれない。

2 教育次長の報告 なし

《議事》

1 議案第7号 全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて 学校教育課長説明

「委員]

学校別の評価については非公表ということだが、学校側はその評価は分かっているということか。

[学校教育課長]

その通り。

「教育長」

個々人の評価はどうか。

「学校教育課長]

個々人には、点数まではお知らせする。

「教育長〕

自分の子はどの問題に対してこういう傾向があるということは分かるようになっていて、順番までは分からないようになっている。あくまでも指導の参考にするためということが大前提である。

原案どおり可決

《学校教育長の報告》

○中学校総合体育大会について

《生涯学習課長の報告》

○「少年の主張」諫早大会について

《文化振興課長の報告》

○第1回文化財保護審議会の審議結果について

[委員]

文化財指定候補の「林公琰(りんこうえん)」とは。

「文化振興課長]

長崎の唐年行司の役であった方で、唐通詞であった林家の祖になる方である。 審議会委員からは中国と日本の交流の歴史上においても重要な基準資料となるものであろうとの意見が出ている。

「委員]

製作年はいつか。

「文化振興課長]

1683年である。

「委員]

千々石ミゲル墓所推定地の発掘調査について、これまで民間資金で行われているが、市として何か支援は。

「文化振興課長]

文化財としての価値があるかどうか審議会の委員に、5月完成予定の報告書の内容を見てもらうなどして、調査の成果等について見極めていきたい。

その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

17時35分閉会